

**アプライアンス用  
ユーザースタートアップガイド  
Secure Handler & Mail Server Enterprise  
FreeBSD 編**

(第1.00A版)

コンソールから root でログインします。  
デフォルトではパスワードは root に設定してあります。

```
FreeBSD/amd64 (localhost.domain) (ttyv1)
login: root
```

※コンソールログイン後に root のパスワードを必ず変更してください。  
passwd と入力すると変更を行えます。

同一ネットワーク上にある PC から FreeBSD をインストールしたサーバーアドレスへ接続し”E-POST コントロールセンター”が表示されることを確認します。



※出荷時状態のログインパスワードは”secret”が設定されています。運用開始前には必ずパスワードを変更してください。

ご使用可能とするために、メールサーバを利用可能にする最低限必要な設定を行ってください。  
以下の5項目を設定することで、メールサーバの送受信が行えるようになります。

### 1.アカウント管理方法を選択します。

本メールサーバが、メールアカウント情報として OS 上のアカウントや独自アカウント、LDAP によるアカウントのいずれかの利用を選択します。

### 2.DNS サーバを設定します。

本メールサーバがメール配送時に問い合わせる DNS サーバを設定します。

### 3.ドメインを設定します。

本メールサーバが管理するドメイン情報を設定します。

### 4.アカウント(エイリアス)を設定します。

本メールサーバが管理するアカウント情報を設定します。

### 5.メール承認管理を開き設定します。

「設定」アイコンより、「Secure Handler を有効にする」をチェックし設定します。

全ての設定が完了したら、各デーモンの再起動を行ってください。

また、ライセンスキーが未入力のままですと**30日間の試用期間状態**となっています。

設定が完了した時点で**ライセンスキーの登録**を行い**設定情報のバックアップ**を行って下さい。

## メールサーバ設定例)

1.E-POST コントロールセンターをブラウザで開きます。

2.メールサーバ管理にログインします。

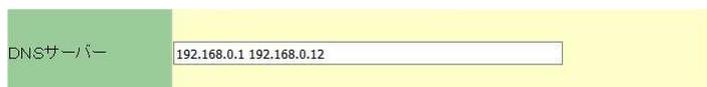


3.アカウント管理方法を選択します。

アカウント管理環境	アカウント管理方式
	<input checked="" type="radio"/> OS アカウント
	<input type="radio"/> Soft アカウント
	<input type="radio"/> LDAP アカウント
	アカウントフォルダ (Soft アカウント) 又は、所属ドメイン名 (OS/LDAP アカウント)
	<input type="text" value="/var/spool/epms/db/"/>
	メール用ローカルグループ名(OS/LDAP アカウント)
	<input type="text" value="IMSUsers"/>
	eg. IMSUsers

本メールサーバが、メールアカウント情報として OS 上のアカウントや独自アカウント、LDAP によるアカウントのいずれかの利用を選択します。

#### 4.DNS サーバを設定します。

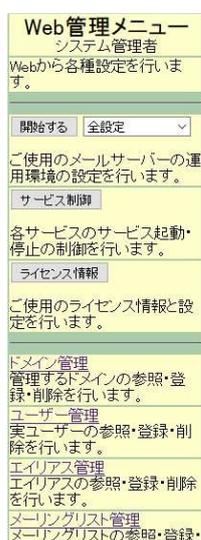


本メールサーバがメール配送時に問い合わせる DNS サーバを設定します。

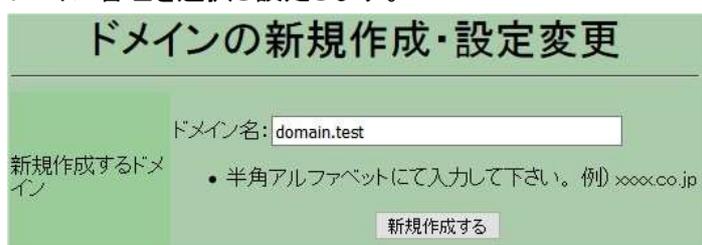
#### 5.設定内容を反映するために、[設定]ボタンをクリックします。



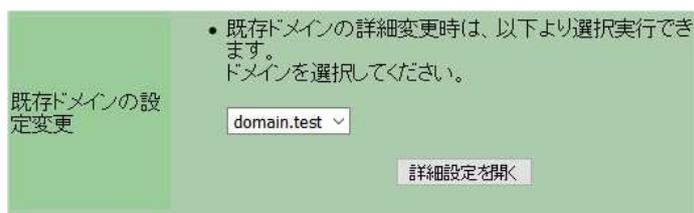
#### 6.システム管理者用の Web 管理メニューに戻ります。



#### 7.ドメイン管理を選択し設定します。



本メールサーバが管理するドメイン情報を新規作成するドメイン欄に設定し、“新規作成する”[ボタン]をクリックします。



既存ドメインの設定変更のリストに表示されているを確認し、ドメイン名を選択した状態で”詳細設定を開く”[ボタン]をクリックします。

ドメインの詳細設定ページ

ドメイン domain.test

操作パスワード \*\*\*\*\*

登録許可するユーザー数 0

メールボックス選択  共通ボックス(区別しない)  接続IPドメインで区別する

IPアドレス(SMTP)

フォルダ名

詳細設定する

”操作パスワード”欄に任意のパスワードを必ず設定し、”詳細設定する”[ボタン]をクリックします。

8.システム管理者用の Web 管理メニューに戻ります。

Web管理メニュー  
システム管理者  
Webから各種設定を行います。

開始する 全設定

ご使用のメールサーバーの運用環境の設定を行います。  
サービス制御

各サービスのサービス起動・停止の制御を行います。  
ライセンス情報

ご使用のライセンス情報と設定を行います。

ドメイン管理  
管理するドメインの参照・登録・削除を行います。

ユーザー管理  
ユーザーの参照・登録・削除を行います。

エリア管理  
エリアの参照・登録・削除を行います。

メーリングリスト管理  
メーリングリストの参照・登録・

”サービス制御”[ボタン]をクリックします。

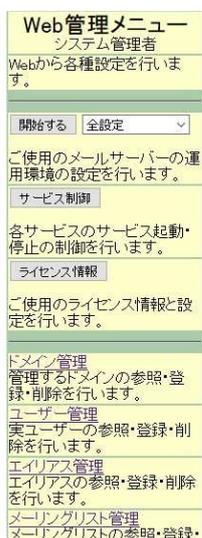
設定を反映させるため全サービスの再起動を行います。

表示されている各サービスの”停止”ボタンをクリックします。

表示が”停止中”に変わったら各サービスの”開始”ボタンをクリックします。

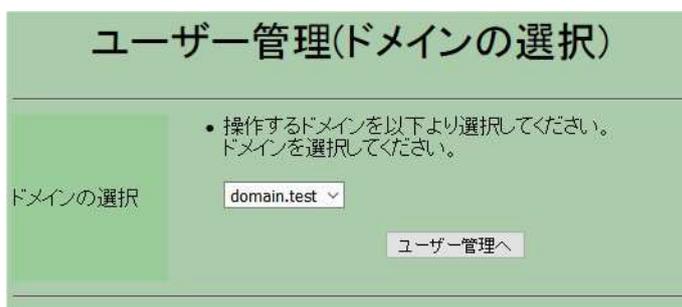
EPSTRD 起動中 停止

9.システム管理者用の Web 管理メニューに戻ります。

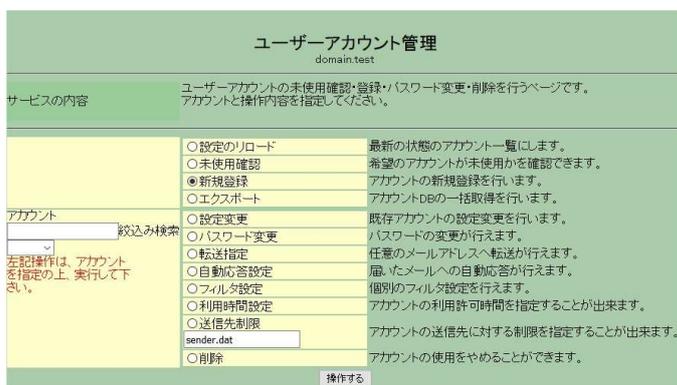


10.ユーザー管理を選択し設定します。

本メールサーバが管理するアカウント情報を設定します。



ユーザーを追加・編集したいドメインを選択し“ユーザー管理へ”[ボタン]をクリックします。



ユーザーを追加する場合は、“新規登録”ボタンを選択し、“操作する”[ボタン]をクリックします。

作成するユーザーを“アカウント”欄へ設定し、認証のためのパスワードを“パスワード欄へ”設定し、“登録する”[ボタン]をクリックします。

成功すると、アカウント欄に追加されます。

アカウント	操作
00001	<input type="radio"/> 設定のリロード 最新の状態のアカウント一覧にします。
	<input type="radio"/> 未使用確認 希望のアカウントが未使用かを確認できます。
	<input checked="" type="radio"/> 新規登録 アカウントの新規登録を行います。
	<input type="radio"/> エクスポート アカウントDBの一括取得を行います。
	<input type="radio"/> 設定変更 既存アカウントの設定変更を行います。
	<input type="radio"/> パスワード変更 パスワードの変更が行えます。
	<input type="radio"/> 転送指定 任意のメールアドレスへ転送が行えます。
	<input type="radio"/> 自動応答設定 届いたメールへの自動応答が行えます。
	<input type="radio"/> フィルタ設定 個別のフィルタ設定を行います。
	<input type="radio"/> 利用時間設定 アカウントの利用許可時間を指定することができます。
	<input type="radio"/> 送信先制限 アカウントの送信先に対する制限を指定することができます。
	<input type="radio"/> 削除 アカウントの使用をやめることができます。

以上で、メールサーバの初歩的な設定は完了です。

登録したユーザーでのメールの送受信が可能か、メーラーや telnet など接続確認を行って下さい。

## セキュアハンドラ設定例

1.E-POST コントロールセンターをブラウザで開きます。

2.メール承認にログインします。

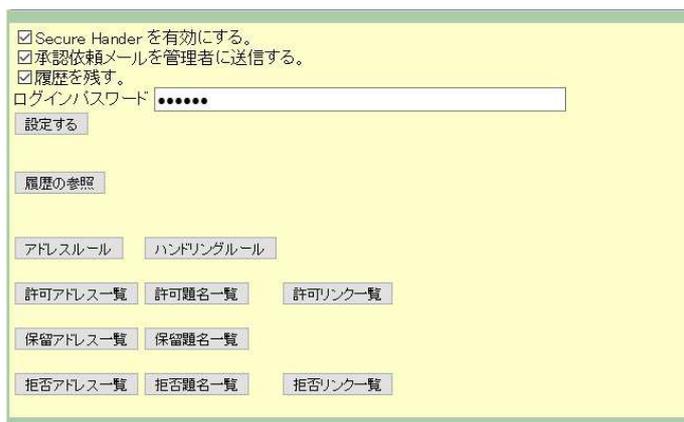


「設定」アイコンをクリックし「メール承認管理 設定」を表示させます



3.“Secure Handler を有効にする”をチェックし“設定する”[ボタン]をクリックします。

上記設定を変更した場合は、メールサーバの epstrd のサービスを再起動させて下さい。



4.アドレスルール[ボタン]をクリックします。



3行目のメールアドレスを、管理者のメールアドレスとして書き換え、“保存する”[ボタン]をクリックします

5.ハンドリング[ボタン]をクリックします。



3行目以降に監視する受信先のメールアドレスを、(to1=アカウント@ドメイン名)として設定し、“保存する”[ボタン]をクリックします。

詳細な監視条件設定はメール承認管理のヘルプマニュアルを参照して下さい。

基本設定は以上で完了です。

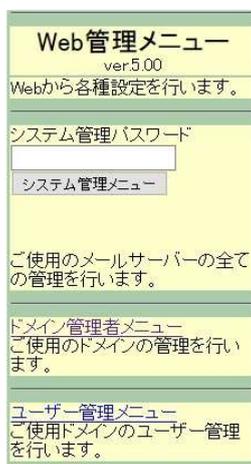
外部から任意のメールを監視したメールアドレス宛に送り、一時保留および自動判定が行われるかを確認して下さい。

設定項目の詳細については、**Web 画面のヘルプ**もしくは、「**E-Post Mail Server Web 用管理ツールマニュアル**」、「**E-Post Secure Handler Web 用管理ツールマニュアル**」をご参照して下さい。

## E-POST Mail/SMTP Server (Std./Ent.)のライセンスキー登録

1. E-POST コントロールセンターをブラウザで開きます。

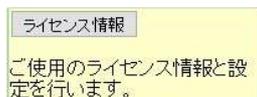
2. メールサーバ管理にログインします。



The screenshot shows a web interface titled "Web管理メニュー" (Web Management Menu) with version "ver.5.00". It contains several menu items:

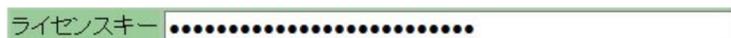
- システム管理パスワード** (System Management Password): Includes a text input field and a "システム管理メニュー" (System Management Menu) button. Description: "Webから各種設定を行います。" (Perform various settings from the Web).
- ご使用のメールサーバーの全ての管理を行います。** (Manage all of the mail servers you are using).
- ドメイン管理者メニュー** (Domain Administrator Menu): Description: "ご使用のドメインの管理を行います。" (Manage the domain you are using).
- ユーザー管理メニュー** (User Management Menu): Description: "ご使用ドメインのユーザー管理を行います。" (Manage users of the domain you are using).

3. [ライセンス情報]ボタンをクリックします。



The screenshot shows a button labeled "ライセンス情報" (License Information). Below the button, the text reads: "ご使用のライセンス情報と設定を行います。" (Manage the license information and settings you are using).

4. [ライセンスキー]欄にライセンスキーを入力し、[設定する]ボタンをクリックします。



The screenshot shows a text input field with the label "ライセンスキー" (License Key) and a series of dots representing masked characters.

## メール承認管理(Secure Handler)のライセンスキー登録

1. E-POST コントロールセンターをブラウザで開きます。

2. メール承認管理にログインします。



3. [設定]アイコンボタンをクリックします。



4. [ライセンスキー]欄にライセンスキーを入力し、[登録]ボタンをクリックします。

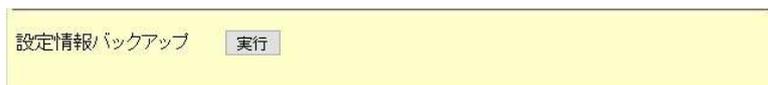


## 設定情報のバックアップ方法

1. E-POST コントロールセンターをブラウザで開きます。
2. システム管理にログインします。



3. “設定情報バックアップ”の[実行]ボタンをクリックします。



暫くすると、“backup.tar.gz”というファイル名としてバックアップされ、ダウンロードされますので大切に保管しておきます。

4. 以上でバックアップが完了しました。

## 設定情報のリストア方法

1. E-POST コントロールセンターをブラウザで開きます。
2. システム管理にログインします。

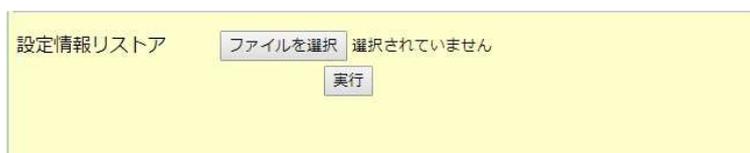


3. “設定情報リストア”の[参照](IE の場合)/[ファイルを選択](Crome の場合)/[Browse...](Firefox の場合)ボタンをクリックします。

### IE の場合



### Crome の場合



### Firefox の場合



設定情報バックアップで保管していた“backup.tar.gz”というファイルを選択し、[実行]ボタンをクリックします。

4. “backup.tar.gz”のアップロードが開始され、暫くすると、リストアが完了します。
5. 以上でリストアが完了しました。